

## 新しい年を迎えて

埼玉県サイクリング協会(参議院議員)  
会長 浜田卓二郎

新しい年を久しぶりに国会議員として迎えることができました。昨年の参議院選挙での当選の感激をあらためてかみしめています。

サイクリング協会の埼玉県の会長に就任したのは衆議院議員の時代であり、私の役割はサイクリング活動の良い環境や条件を確保するために、政治的側面も含めて力を尽くすこととと思っていました。しかし、衆院区での敗北の後、足踏みをしている時間が長く、会長としての職責を果たせないという思いを強くもってきました。それだけに今回の当選は嬉しく、また、振り返って、この足踏みの期間も会長として迎え、また、支えて下さった会員の皆様への感謝の気持ちでいっぱいあります。

今度こそ、期待を裏切らないように、微力ながらサイクリング協会会長として頑張ろうと決意を新たにしています。

さて、昨年秋の秩父における“ツール・ド・秩父”は素晴らしい盛り上がりでした。今日の大会にまで育ててきた関係者の努力に改めて頭が下がります。

私は口癖のように“ツール・ド・秩父”を“ツール・ド・フランス”のように日本の名物と言えるような国民的行事に育てようと言ってきました。秩父市の内田市長とも昨年もそう会話をかわしました。

市長は、そのためにも交通取締当局にもそういう理解をしてもらわねばと言っていました。それも今年の努力目標です。

会員の皆様と共に、今年も張り切ってゆきましょう。

平成11年 元旦

## サイクルOL大会終わる

第11回県民総合体育大会サイクルOL（オリエンテリング）大会が11月8日、北荒川運動公園（吉見総合グラウンド）を会場として開催された。

9時から受付・車検を済ませた参加者は9時30分の開会式にのぞんだ。原田副理事長から挨拶と実施上の注意があった。

一般・シニアが2分間隔で、女子・トリムの部が4分間隔でスタートした。

OLは指定されたポイントを見つけることであるが、ポイントをいかに自分の地図に正確に記述するか、そしてどのコースを設定して走ったら、いち早く目的地に辿りつけるかというように、知力と体力の勝負である。

12時20分頃に最初のゴール者があったが、ポイントと所要時間で順位が決まるので、必ずしも最初のゴール者が1位とはならない。ゴールする度に速報用紙の順番が入れ替わるので面白い。

閉会式では1位にトロフィー（持ち回り）、賞状、2～3位に賞状が贈られた。また完走者全員に認定証が渡され解散となった。

### 大会結果

<一般の部>	ポイント数	10	、	距離約	45km
1位	齊藤 信浩	2 : 06 : 20			
2位	石谷 嘉男	2 : 16 : 05			
3位	田口 安男	2 : 18 : 05			
<シニアの部>	ポイント数	10	、	距離約	35km
1位	土井 智行	2 : 12 : 07			
2位	栗原 茂次	2 : 43 : 00			
3位	辺見 栄一	3 : 01 : 40			
（敬称略）					
女子・トリム	は規定人数に足しなかったので参考タイム				
<女子の部>	ポイント数	8	、	距離約	30km
	高橋 篤子	2 : 13 : 32			
	篠田 典子	3 : 21 : 00			
<トリムの部>	ポイント数	6	、	距離約	20km
	藤田 夫妻	1 : 03 : 18			
	鈴木ファミリー	1 : 35 : 14			



## 『自転車文化・環境』

朝日新聞に自転車乗りに対する羨ましい記事が出ていましたので掲載します。

通勤は自転車でGO！ 米シアトル発＜環境問題・健康志向が追い風＞  
午前八時過ぎ、シアトルのダウンタウンにある桟橋にベイブリッジ島からのフェリーが接岸した。自転車に乗ったサラリーマンが次々と下船し、会社に向かう。ネクタイ姿の人も、ヘルメットをかぶった競技用スタイルの人もいる。多くの会社にはシャワー室があり、そこで着替えて仕事を始めるという。「車は運転しないが、別に不便は感じない。冬は雨の日が多いが、小雨だし、へっちゃらだ。運動になるし、ガソリンを買う必要もない。空気を汚すこともない。もっと自転車専用道路を造ってほしい」と電気技術者のジェフ・デービスさん。自転車で欧州旅行を計画している。

約52万人のシアトル市民の約36%がレクリエーションとして自転車を楽しんでいるという。全米でも屈指の自転車の町だ。市内には延べ約45本の自転車専用道のほか、自転車レーンが約23本、さらに「自転車ルート」のサインがついた約145本の道がある。

全米最大と言われる自転車運動の市民団体「カスケード自転車クラブ」(会員約5000人)が発足した1970年にはシアトルの自転車道路は市内の北部のグリーンレイクの周辺だけだった。

年々増える車と激しくなる交通渋滞。地球の二酸化炭素排出量の17%を占めると言われる排ガスによる大気汚染問題や市民の健康志向などが追い風となって、同クラブ運動で自転車通勤は最高8,000人まで増えた。

平均すると通勤者の3%とまだ少ないが、「この20年で5倍に増えた。レクリエーションなどを含めた自転車の利用は大きく伸びている」(同クラブ対政府委員会議長のダン・クレインさん)。同クラブ主催しているシアトル-オレゴン州ポートランド自転車ツアーやシアトル-カナダ・バンクーバー自転車ツアーは1万人のサイクリストが参加する盛況ぶりだ。

91年に出来た連邦陸上交通効率化法などに基づいて、シアトル市では無効20年間の総合計画作りを進めている。その目玉の一つが、今後10%に増やす計画だ。

「ビジネス優先で州は自転車道を広げようとしている。だが、自転車利用施設を拡充し、安全教育を徹底することだ」とクレインさんは強調する。同クラブでは小・中学校に出かけて、直接、子供たちに安全な自転車の乗り方を教えている。

自転車通勤の運動はポートランドやアリゾナ州ツーソン、ウイスコン州マディソン、コロラド州デンバーなどでも活発化している。ポートランドの自転車専用道路は約320本が完成、今後約千本まで延長される計画だ。<12月5日朝刊より>

【コメント】

「カスケードクラブ」に入っている知人が先日私を訪ねてきて来年、日本をクラブの仲間と走りたいそうです。日時はまだはっきりしませんが9月頃になるかも知れません。日本の仲間とも一緒に走りたいとのことなので、その時はぜひ参加して下さい。(予定1:高崎-長野-石川-山陰地方 2:九州一周)

また、このクラブのツアーに参加したい方は下記のホームページにアクセスすれば詳細を見ることができます(但し英語)。

<http://www.cascade.org/>

## 新春サイクリング案内

日時 平成 11 年 1 月 10 日 ( 日 ) 9:30 ~

集合 9 : 30 ( 狭山県立自然公園駐車場 )

コース 多摩湖周辺サイクリング

今年は多摩湖周辺を走ってみましょう。

会場に来るまでに各自思い思いのコース

を設定して走ってきて下さい。

### 指導者研修会の案内

日時 平成 11 年 2 月 14 日 ( 日 ) 9:00 ~ 16:00

会場 埼玉県青少年会館大会議室

1 , 2 , 3 級インストラクターの研修会です。

該当者は 1 月 23 日までに事務局まで連絡下さい。

\*更新までに一度も参加しないインストラクターは  
資格を取消します。

### 新 3 級インストラクター誕生

平成 10 年度の講習会において次の方々为新 3 級インストラクターとして登録されました。なお一層の活躍を期待します。

桑原司郎、鷺津公有、義井弘毅、山中真一、柳井 稔、熊木雄三 ( 敬称略 )

事務局だより

おかげさまでサイクリスト携帯時計は完売しました。

新企画のイベントを 5 月ごろ所沢にて開催する予定です。どうかお楽しみに！

《編集後記》

朝日新聞の記事に感動させられました。自転車の環境づくりを、もっと積極的に取り組まなければいけないのだろうが、それにしても時間がない。去年は色々なことが重なり多忙の一年であった。今年はさらに忙しくなりそうだ。時間は自ら作り出さねばならないのだが。

